

クセになる。八尾の人、まち、自然、うまいもん

# Yaomania

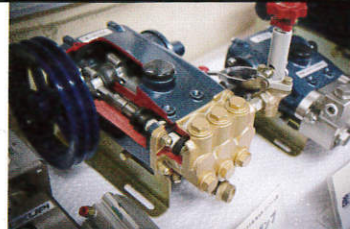
【ヤオマニア】Vol.8 2015年・春増刊号



## ものづくり王国・八尾の顔。

身近なものから大プロジェクトを支える製品まで、スーパー技術集団の現場と愛すべき顔たち。

ヤオマニアの横顔  
平野早矢香さん(卓球日本代表)

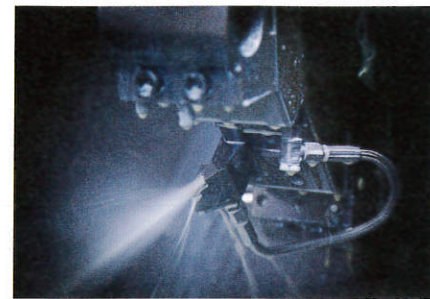


産業用高圧ポンプの一部

「10年はかかると言われていたのが逆に活力になり、できることが増えていくのが本当に楽しかったですね。そのぶん、うるさがられるほど聞きまくりました(笑)」  
トクピは量産メーカーが手を出したくないところ、たとえば泥まみれで使われる場所や水質の汚いところなど、悪環境にも対応したポンプが得意だ。

今、森合さんは高圧クーラント装置に関する研究に余念がない。「これは金属加工の工作機械に取り付け、高圧ノズルで冷却液を噴射し、切削の摩擦熱を下げるものです。」

**ポンプ**—その仕組みは私たちの想像以上に広く産業界に汎用している。トクピは産業用高圧ポンプの製造開発を手がける会社だ。「半導体製造に必要な純水用高圧ポンプから湿度を管理する、ミスト発生装置など、ポンプは幅広い分野で活躍しています。一般には工事現場で使う洗浄機や街中の洗車機が知られていますね」と語る森合さんは入社5年目。最初は工具の種類すらわからず、工作機械から出る金属クズを回収しながら、名称や機械の操作を覚えていった。



上/高圧クーラントによる噴射の様子。水道の蛇口を一杯ひねった状態の約200倍の水圧! 右/これが高圧クーラントだ



産業用高圧ポンプ製造  
株式会社トクピ製作所  
八尾市大竹3-1-67  
072-941-2288

冷却効果で刃物の寿命が伸び、生産率が上がります。取り付けを提案するため、実際に工作機械をバラし、内部の耐圧性を調べたりもしました」  
航空機の部品加工で活躍している高圧クーラントを他業種でも応用させたいと、さわやかスマイルで語る。根っからの神戸っ子と聞き、少し納得した(笑)。



ミスト発生装置やポンプをつくっています。  
トクピ製作所  
森合勇介さん(29)

これだけ霧が出ているのに、使う水は毎分50ccと実に経済的なミスト発生装置を紹介する森合さん